

## Sustainable Remediation コンソーシアム

### 平成 29 年度事業計画

#### 1. 平成 29 年度の活動方針

本コンソーシアムは、日本における Sustainable Remediation（以下、SR）の概念の構築、普及を図ることにより、土壌汚染による社会・経済的影響の低減を目的とする。本年度は、Sustainable Remediation コンソーシアムの 2 年目として、WG 活動の本格化、成果の公開、国際的な連携を進めていく予定である。

#### 2. 本年度の事業活動（WG 活動含む）

本年度実施する具体的な活動としては以下のとおりである。

##### ① 研究会の開催

2017 年度も継続して 2-3 回程度開催する。

##### ② GR 検討 WG：(WG 担当：保高徹生・張銘)

・特定工法における外部環境負荷の低減を目的とした、日本版のベスト・マネジメント・プラクティス（BMP）を含めた、環境負荷配慮のガイドライン／技術資料を公開する。

- ・各措置工法について環境負荷の観点からのメリット／デメリットも整理する。
- ・外部環境負荷の把握を目的とした、半定量法の活用方法の検討も進める。

##### ③ SR 評価法 WG（WG 担当：中島誠・古川靖英）

- ・日本版 SR-White Paper を取りまとめて公表する。
- ・日本版 SR 評価で使用する Index を取りまとめる。

##### ④ SR/GR 事例収集・共有（担当：事務局（産総研））

本年度活動：SR/GR の事例収集を実施し、研究会等で報告、およびコンソーシアム内の共有を行う。

##### ⑤ 国内対応

- ・第 22 回・地下水・土壌汚染の・・・研究集会にてコンソーシアムの活動内容を報告する。
- ・環境管理誌、環境情報科学誌に、SR、GR の解説原稿を投稿する。
- ・会員向け以外に一般向けのイベントとして、コンソーシアムの成果を周知する会合を開催する可能性がある（産業技術連携推進会議との共催も検討する）。

⑥ 国際対応（保高・古川）

- ・ SuRF へ継続して加盟する。
- ・ AquaConsoil2017(6月、リヨン)にて、SR コンソーシアムの活動を口頭発表する。
- ・ AquaConsoil2017(6月、リヨン)にて、各国の SuRF メンバーと会合を持つ。

6. コンソーシアムの運営

本コンソーシアムは以下で運営される。

会長 : 保高徹生 (産業技術総合研究所)

副会長 : 中島誠 (国際航業)、張銘 (産業技術総合研究所)

監事 : 門間聖子 (応用地質)

運営委員 :

保高徹生 (産業技術総合研究所)

張 銘 (産業技術総合研究所)

中島 誠 (国際航業)

古川靖英 (竹中工務店)

巢山廣美 (昭和シェル石油)

名取裕太 (東京都環境局)

事務局 : 保高徹生 (産業技術総合研究所)

7. 本年度主なスケジュール (案)

- 6月2日 年次通常総会・第3回研究会
- 8月 GR 検討 WG・SR 検討 WG
- 9月末- ISO/TC190 総会 at ソウル
- 10月 GR 検討 WG・SR 検討 WG
- 1月 GR 検討 WG・SR 検討 WG
- GR ガイドライン (技術資料) 公開、日本版 SuRF-White Paper の公開
- 2月 第4回研究会